

Compete in beauty: World of Ukiyo-e paintings from the HIKARU MUSEUM collection

光ミュージアム所蔵

美を競う

肉筆浮世絵の世界



2021 7.3 土 — 9.5 日

休館日/7月12日(月)、19日(月)、26日(月)、8月2日(月)、10日(火)、23日(月)、30日(月)

開館時間/9:00~17:00(入場は16:30まで)

観覧料/一般1,100(900)円、70歳以上・学生900(700)円

※()は前売りおよび20名以上の団体料金。

※18歳以下の方および高等学校、中等教育学校、特別支援学校の生徒は無料。

※身体障害者手帳、療育手帳、戦傷病者手帳、精神障害者保健福祉手帳の提示者とその介護者(1名)は無料。

※前売券は、ローソンチケット(Lコード62374)、セブンチケットでお求めになります。

※割引券は県内各プレイガイドおよび道の駅、旅館等観光施設に設置しています。

主催/肉筆浮世絵展萩実行委員会(山口県立萩美術館・浦上記念館、毎日新聞社、tysテレビ山口)

後援/山口県教育委員会、萩市、萩市教育委員会

協力/エフエム山口 特別協力/光ミュージアム 企画協力/アートシステム

監修/鈴木浩平(美術史家)、故・永田生慈(美術史家・北斎研究者)

漢斎英泉「立ち美人」(部分)文政年間(1818-30)絹本着色一軸



山口県立萩美術館・浦上記念館 開館25周年

25TH ANNIVERSARY 1996-2021



山口県立萩美術館・浦上記念館 HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758-0074 山口県萩市平安古町586-1 TEL 0838-24-2400 URL <https://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/>



美を競う

肉筆浮世絵の世界

浮世絵は木版による作品が大半を占めますが、絵師が直接筆をとり、絹や紙のうえに一筆一筆丁寧に描かれた肉筆浮世絵にも、近年高い関心が寄せられています。

本展覧会は、これまで大々的に公開されることがなかった^{ひかる}光ミュージアム(岐阜県高山市)所蔵の肉筆浮世絵の名品を、初めて一挙にご紹介するものです。コレクションのなかから美人画を中心に111点を厳選し、浮世絵史における各時代の代表絵師のほか、上方や地方で活躍した絵師たちの作品をお楽しみいただきます。肉筆浮世絵ならではの、しなやかで優美な魅力をご堪能ください。



美しさにうっとり

記念講演会 「肉筆浮世絵にみる美人画の魅力」


[聴講無料]
講師 | 鈴木浩平氏(本展監修者・美術史家)
日時 | 7月3日(土) 13:30 ~ 15:00
会場 | 本館講座室
定員 | 40名(申込先着順)

肉筆浮世絵について
もっと教えて♡



ご来館の皆さまへ

当館では、新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策を行っています。



交通のご案内

※運行の状況につきましては、各交通会社にお問い合わせください。

- [新山口駅から]
 - 直行バス「スーパーはぎ号」(約60分)で萩・明倫センター下車、徒歩約5分
 - 防長バス(約95分)で萩バスセンター下車、徒歩約12分
- [山口宇部空港から]
 - 萩・石見空港から
 - 萩近鉄タクシー(乗合タクシー)約70~80分(利用前日までに要予約)
- [JR山陰本線]
 - JR萩駅から萩循環まあーるバス(西回り)約30分
 - JR東萩駅から萩循環まあーるバス(東回り)約30分
 - JR玉江駅から徒歩約20分
- [自動車]
 - 「中国自動車道」美祢東JCT経由、「小郡萩道路」絵堂ICから約20分
 - 「山陰自動車道」三見ICから約10分、国道191号沿い



 山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758-0074 山口県萩市平安古町586-1 TEL 0838-24-2400
URL <https://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/>

申込方法

電話(0838-24-2400)にて、参加希望日・参加者全員の氏名・年齢、代表者の日中の連絡先をお知らせください。

※新型コロナウイルス感染状況によって変更または中止になる場合があります。詳細は、当館ホームページをご覧ください。



ギャラリー・ツアー 学芸員による作品解説

[要観覧券]
日時 | 毎週日曜日 11:00 ~ 12:00
会場 | 本館2階展示室
定員 | 20名(申込先着順)



お出かけでルンルン

1.勝川春章「美人と蓬鹿」(部分)天明7~8年(1787-88)頃 絹本着色一幅 2.宮川長春「立ち美人」(部分)正徳~享保年間(1711-36)絹本着色一幅 3.藤鷹「旅の女」享和(1801-04)~文化年間(1804-18)前期頃 紙本着色一幅 4.祇園井持「子守」(部分)文化12年(1815) 紙本着色一幅 5.葛飾北斎「日龍月」寛政12~文化5年(1800-08) 紙本着色三幅対